

キャンパス中央に大学の核となる中庭「ケヤキコート」を包み込む井桁状の建物配置



Tokyo
Adachi
Campus

文教大学 東京あだちキャンパス開設

東京あだちキャンパスを2021年4月に開設します。
開設に伴い、東京あだちキャンパスには、
湘南キャンパスに設置している
国際学部と経営学部の全学年が一斉に移転します。
文教大学は、新キャンパスを最大限活用しながら
大学の競争力強化を図り、
これからも社会から求められる
有為な人材を育成していきます。

東京あだち
キャンパス
特設サイト



周辺建物と高さを合わせた、街と一体感のあるキャンパスデザイン。正面には、学生と地域の寛ぎの場やイベントの場となる開放的な緑の広場が広がる



図書館「文教メディアテーク」の2階は賑わいのある学びのフロア。3階は静寂・集中のフロア。フロアで気分を変え、自由に学習できる空間



交流・発見・学習が連続する長大な共用空間「ラーニングステーション」

※画像はイメージであり、今後の検討により変更の可能性があります。

「あやなり」アンケート協力依頼

「あやなり」は、皆様からの意見をもとに制作しています。同封の「アンケート用紙」や「あやなり Web サイト」からご意見をお寄せください!! プレゼントクイズにも挑戦いただけます。ご意見・ご回答をお待ちしております。

プレゼントクイズ

15ページ「恩師便り」に登場している山田俊一先生は他のページにも登場しています。それはどのページでしょう?

2018年9月30日(日)までにご回答いただきました方のうち、正解者の中から抽選で10名様に、「文教大学学園グッズ詰め合わせセット」をプレゼント! 中身は届くまでお楽しみですよ!



編集後記

文教大学学園に関わる「人」や「物」を紹介してきました「あやなり」も第5号を発行する運びとなりました。第5号では、学園の今を知っていただきたいと考え、現役生や学食を紹介いたしました。今後もぜひ学園を応援していただけますと幸いです。また、魅力あふれる卒業生や恩師にも登場していただいていますので、皆様が旧交を温めるきっかけになることを願っています。(経営企画課 校友会担当)

※ 送付先住所は、各校友団体の協力を得て最新のデータで送付しておりますが、旧住所や宛名間違い等がございましたらご寛恕ください。その場合はご連絡いただけますと幸いです。
※ 「文教人」の卒業生数は、本学園創立から2018年3月までの、各校の卒業生数を集計したものです。複数校を卒業している方の「名寄せ」は行っていませんのでご了承ください。また、付属中学校・高等学校については、高等学校卒業時点でカウントしています。

あやなり

文教大学学園校友会報
2018.7.31 第5号

発行：文教大学学園
編集：経営企画局 経営企画課
制作：文化工房

〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
TEL: 03(3783)5511(代)
FAX: 03(3783)6109
E-mail: alumni@stf.bunkyo.ac.jp

あやなり
a y a n a r i

文教大学学園
校友会報

2018.7.31 第5号
発行：文教大学学園
編集：経営企画局 経営企画課



漫画家 須賀達郎さんの作品
情報学部情報システム学科 2011年卒業

【特集1】輝く！現役文教人

【特集2】おいしくおトクな文教グルメ

02 学園理事長の挨拶	12 文教人に会える店
03 文教大学学園の概要	14 恩師便り
文教 HOT Topic	16 校友会の輪
10 文教人 / 134,000	18 学園 NEWS

文教大学学園の卒業生や現役・退職教職員など、関係者の皆様にお送りする広報誌、「あやなり」第5号をお届けします。

文教大学学園の各校の情報や、卒業生・退職された先生方へのインタビューなど、楽しんでいただける内容を掲載いたしました。

この「あやなり」が人と人、人と学校をつなぐ場であればと願っています。



あやなりとは

「あや(文=文教)は人なり」という想いを込めて。いにしえの時代、「あや・文」は物の面にあらわれたいろいろな形、様々な線が交錯した模様を指す言葉として使われました。「あやなり」も様々な情報を発信し、皆様の目を楽しませる冊子を目指します。

「あやなり」第5号をお届けします

昨年、文教大学学園は創立90周年を迎えました。記念事業のすべてを滞りなく終了することができました。ここに報告申し上げます。

その企画としまして、前回の「あやなり」第4号では「歴史のバトン」を次世代に渡すという試みで、学園の90周年を写真で紹介しました。とても好評でした。

これまでに卒業生は13万4千人を超え、各界で活躍されています。今でこそ幼稚園、小学校、中学校・高等学校、大学、大学院を持つ総合学園となりましたが、最初のころはあまり知られた学園ではありませんでした。そこで特に今60代以上の方々、当時はまだ卒業生も少ない中、知名度のハンディも抱えながら、自らのご努力で道を切り拓いてこられたことと思います。

「あやなり」は、そうした卒業生や現役・退職教職員向けの広報誌として2014(平成26)年に創刊し、第5号となる今号は、発展のさなかにある“学園のいま”を知っていただきたいと考え、それをテーマとしました。また、卒業生のお店や懐かしい先生方の近況をお伝えすることで、皆様方が旧交を温めるきっかけになれば、と考えております。

今年からは、新たに100周年という目標に向けて、建学の精神であります「人間愛」を大切にしながら、皆様が学園各校の卒業生、現役・退職教職員であることが、誇らしく思えるような学園づくりに取り組んでいく所存です。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



文教大学学園 理事長
野島 正也

文教大学学園 2018年5月1日現在

文教大学附属幼稚園

開設:1927(昭和2)年

園児数:157名

園長:保田 昇

所在地:旗の台キャンパス

〒142-0064

東京都品川区旗の台3-2-17

Tel:03-3781-2798



文教大学附属小学校

開設:1951(昭和26)年

児童数:307名

校長:島野 歩

所在地:石川台キャンパス

〒145-0065

東京都大田区東雪谷2-3-12

Tel:03-3720-1097



文教大学附属中学校・高等学校

[中学校]

開設:1947(昭和22)年

生徒数:459名

[高等学校]

開設:1948(昭和23)年

生徒数:839名

校長:戸田 弘美

所在地:旗の台キャンパス

〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17

Tel:03-3783-5511(代)



文教大学・大学院

開設:1966(昭和41)年

教育学部:1,640名

人間科学部:1,846名

文学部:1,699名

情報学部:1,274名

国際学部:1,153名

健康栄養学部:429名

経営学部:736名

大学院:97名

専攻科教育専攻科:1名

外国人留学生別科:37名

(大学・大学院合計 8,912名)

学長:近藤 研至

所在地:

[越谷キャンパス]

〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337

Tel:048-974-8811(代)

[湘南キャンパス]

〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100

Tel:0467-53-2111(代)



越谷キャンパス



湘南キャンパス

文教 HOT Topic

文学部卒業生 高橋弘希さんの小説「送り火」が第159回芥川賞に選ばれました!!

2018年7月18日、芥川賞選考委員会が開催され、「あやなり」第3号の「文教人」に登場された高橋弘希さん(文教大学文学部2004年卒業)が、小説「送り火」で第159回芥川賞に選ばれました。芥川賞には今回で4度目の候補作となっていました。

90周年記念式典が行われました!!

2017年10月17日に、学園創立90周年を記念し、旗の台キャンパスにおいて「創立90周年記念式典・祝賀会」が執り行われました。記念式典・祝賀会には、来賓、招待者、教職員などが多数集い、創立90周年を祝いました。



90周年記念式典時の幼稚園児のダンス風景

「あやなり」Webサイト公開中!

「あやなり」の誌面には載せきれなかった、現役生・卒業生・恩師のこぼれ話や卒業生のお店情報、各キャンパスの今昔写真を「あやなり」Webサイトに掲載しています。ぜひご覧ください!! Webサイトから「あやなり」アンケートにもお答えいただけます。



<http://www.bunkyo-ayanari.jp>

文教大学 越谷キャンパス

国際協力団体☆BICO

(竹花 和さん、荒木 貴子さん、荒木 彩花さん、高野 玲奈さん)



世界の子どもへ給食を届けたい
学生食堂から世界の食の不均衡を考える

毎月3日間、越谷キャンパス学生食堂に登場するTFTメニューを購入すると、1食につき20円が寄附され、学校給食1食分として開発途上国の子どもへ贈られます。TFTとはTABLE FOR TWOを意味し、私たちの1食分が開発途上国の子どもの1食分になる、という活動です。

国際協力団体☆BICOは、越谷キャンパスでTFT活動を進めています。5名のメン

バーが「TFTのコンセプトに共感した」「国際協力活動に関わりたい」などの思いをもって、毎月のメニュー開発や普及活動に取り組んでいます。

毎月のメニューづくりは、他の学食メニューと並んだ時に、利用者に「美味しそう」「食べてみたい」と選んでもらえるよう、工夫を凝らしています。「たくさんの人に食べてもらうことが大切なので、どの食材をメインにするかは毎月悩ましいです。期間限定メニューなので、季節やイベントを意識して、定番メニューと差別化しています。デザートを付けると、特に喜ばれますね。最終的には学生食堂の担当者と相談し、カロリーや食材の確保、作業工程なども考慮しながら決定します。

1日に付き20食限定で提供されるTFTメニュー。期間中に学生食堂を利用した



手書きのポップでメニューの魅力と活動をアピール

一緒に活動してくれるメンバーも募集しています



時に完売していたり、他の学生の「今日はもう完売したんだ。食べたかったのに」との言葉が聞こえてきたりすると、とてもやりがいを感じます。

「1食でも多く開発途上国へ給食を届けたい」という思いを胸に、一人でも多くの人にTFTのことを知ってもらえるよう活動を続けています。

メニューの提供日などはTwitterで発信していきます。アカウント名:@bicottf

文教大学学園では、現在、1万人を超える園児・児童・生徒・学生が学んでいます。建学の精神である「人間愛」に基づき、それぞれの道を輝きながら歩んでいる現役生たち。そんな彼らの活躍を紹介します。

文教大学 湘南キャンパス

健康栄養学部管理栄養学科 福永淑子ゼミ

(小川 莉奈さん、鈴木 玲奈さん、香川 葵さん、竹内 あすかさん、中島 由実さん)



女子学生の感性で郷土料理を作ったら…？
地元 JA、農家とコラボでレシピ開発

各地方に伝わる伝統料理。これを若い世代のイメージで作ったらどんなものができるのか？そこにチャレンジしたのが福永ゼミの女子学生たち9名。「若者に好まれる郷土料理の開発」と題して新たなレシピを考案し、昨年12月、JAさがみ農産物直売所「わいわい市寒川店」とのコラボレーション企画で発表しました。

茶どころ静岡県の「お茶マフィン」、岡山県の郷土料理きびだんごをアレンジした「おかず系きびだんご」など5品を紹介。「売っていないの?」「商品にはならないの?」など試食品を口にしたら来店者からの評判は上々で、学生たちも大きな手応えを感じました。

「レシピづくりは各班に分かれて行いましたが、郷土に根ざした新しいセンスの料理で、誰でも作ることができ、栄養面から

も優れたレシピ。この3つを満たすことが、どの班ももっとも苦労した点です。栄養・管理について学んでいます、それを「料理を食べる」ことでどう実現していくかは机上では学べないことです。この経験でより実践的な力を身に付けることができました」と学生たちは話します。

47都道府県すべての郷土料理開発を目指しています



学生たちのアイデアを反映した今回の取り組みは、寒川の農家の方たちから大きな反響があり、「一緒に何かできないか」というラブコールをいただきました。今後は寒川の特産である枝豆、トウモロコシを使ったレシピづくりや商品開発を行っていきます。



寒川町のイベントでは、たくさんのお客様に喜んでいただきました

今後の活動はInstagramで発信していきます。アカウント名:@fukunagazemi

文教大学付属 高等学校

部のスローガンは「脚下照顧」 野球を通じて人間教育を

1勝でも多く勝ちを重ね、頂点へ向かってコマを進めることができるように……。野球部は甲子園予選東京大会に向けて、授業開始前の朝・昼休み・放課後の練習、合宿、さらには年間100回もの遠征試合をこなしています。それらに加えて行ってい



るのが清掃活動。朝7時半、旗の台あるいは荏原町駅周辺には、部員たちがほうきとちりとりを持って掃除をしている姿があります。

「おはようございます！」とほうきを動かす手を止めて挨拶。それに対して「いつもありがとうございます」「ごくろうさま」の言葉が地域の方たちから返ってきます。「声を掛けていただくと、やっぱりうれしい」とは、副主将の伊東二千翔さん。「掃除をして

文教大学付属高等学校 野球部
(伊東 二千翔さん、加藤 大星さん、梅津 哲也さん)

いと、いろいろな所に目が行くようになり、様々な発見があります。練習だけでは気付かないことがたくさんあり、そうした経験はチームプレーでも活かしていると感じます」

部のスローガン「脚下照顧」は、「足元をよく見よ」という禅宗の言葉です。野球が強くなることはもちろんですが、「まずは気配り、目配り、心配りのできる人であってほしい」と福島監督はおっしゃいます。

文教大学付属 中学校

はつらつとしたパフォーマンスを支える輝く瞳

「GO! Claritas!」はつらつとした掛け声が講堂に響きます。2011年にバトン部から名称を変更したソングリーディング部の中学生チーム「Claritas」が放課後の練習に励んでいました。ソングリーディングとは、ラインダンスをメインとするダンススキルと、チームの一体感が審査対象と



なる競技です。

小学3年生からチアダンスを習っていたという部長の小田雪乃さんは、「ダンス部のある学校を探して文教を選びました」というほどのダンス好き。親に勧められて始めた島田紅葉さんは、「大会が近づく練習が多くなって大変ですが、入賞した時は本当にうれしい」と笑顔を見せます。「大会で入賞した後、親が泣いているのを見ると、やってよかったと思います」

と山形華音さんもうなずきます。また、部の運営や後輩の指導を通して、周りの人のことをよく見て考えられるようになったり、自分の意見をはっきりもてるようになるなどの変化もあったそう。「先輩方が築いてきた伝統を受け継ぎ、後輩へとバトンを繋いでいきたいと思います」との力強い言葉も出ました。Claritas(明澄)の名の通り、その瞳はきらきらと輝いています。

文教大学付属中学校ソングリーディング部「Claritas」
(山形 華音さん、小田 雪乃さん、島田 紅葉さん)

文教大学付属 小学校

全国小学生グループ プレゼンテーション大会で4位



プレゼンテーション大会では、「小学校に一科目追加するなら何が良いか」というテーマに対して、「交流の時間」を追加することを提案しました。限られた時間で提案内容を模造紙にまとめ、その内容をもとにプレゼンテーションをしたり、質疑応答に対応したりします。それぞれに役割を決め、全員で協力して本番にのぞむことができました。他校は6年生ばかりで、

文教大学付属小学校 5年生 ※参加当時は4年生
(竹川 舞さん、渡辺 由季さん、中村 匠さん、矢野 祥太郎さん)



惜しくも決勝には進めませんでしたが、大会への参加を通して積極性や相手のことを考える力が身に付きました。お互いを認め合う4人のチームワークは抜群!「次は絶対に優勝したいです」と力強く語ってくれました。

文教大学付属 幼稚園

みんなで仲良く「子どもの日の集い」



文教大学付属幼稚園

園児とその保護者が「親子レクリエーション」で製作したこいのぼりを飾り、「子どもの日の集い」としてミニ運動会を開催しました。園児たちは、ダンスやすもう大会、かけっこなどに挑戦しました。イベントのための特別な種目ではなく日ごろの活動の延長で行います。普段どおり、年長組が年少組の面倒を見るなど、入園後1カ月の年少組の園児たちもこの日のびと参加しました。園児の気持ちに寄り添い「できることを増やしていこう!」という思いのもと、先生や職員も参加し、幼稚園全体がひとつになって楽しむことができました。

[特集2]

おいしくおトクな 文教グルメ

越谷・湘南キャンパスにある学食は、
学生以外も自由に利用することができます。
リーズナブルな価格でおいしい料理が味わえる学食。
それぞれの学食から、オススメメニューを紹介します。



肉みそ温玉パスタ
450円/A



イタリアンバジルチキン
500円/A



チキステーキ
ガーリックオニオンソース
500円/B



あんかけチャーハン
400円/A



唐揚げ丼
400円/B



洋食屋のカレー
280円/B



文教油そば
400円/A



海老ときのこのドリア
450円/A

メニューが豊富になって
選ぶのが楽しいね



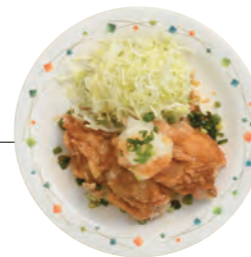
男性に人気

女性に人気

2017年度 人気No.1のメニューは？

越谷
キャンパス No.1

若鶏の竜田揚げおろしポン酢
390円



湘南
キャンパス No.1

ふわふわたまごのオムライス
450円



かき揚げそば
400円/B



チリマヨソース
チャーシュー丼
450円/A



豚しゃぶのサラダ仕立て
500円/B



定番カレーライス
280円/A



肉野菜まぜそば
400円/B

本格的な味だな～



女性に
オススメ



ここも気になる！ 旗の台キャンパス食堂

越谷・湘南キャンパスと異なり、
中高生や職員が利用するこちらの食堂。
今回特別に潜入レポートします！



108席の
開放的なスペース。



メニューは日替わりで、コンポートセット(定食)や丼、麺などを選べます。
コンポートセットの中でも人気は「ミックスグリル」。ボリュームたっぷりです。

※一般の方にはご利用いただくことができません。

越谷キャンパス A

バラエティ豊富なメニューが人気。
休み時間は多くの学生で賑わいます。

営業時間

食堂1階	・定食・丼コーナー	月～金	8:00～10:00(朝定食) 10:00～17:00(通常メニュー)
		土	10:00～13:30
	・麺コーナー	月～金	10:00～18:00
		土	10:00～14:30
食堂2階		月～金	10:00～14:00
カフェ		月～金	10:00～17:00



湘南キャンパス B

1階では定食・丼・カレー・麺メニュー、
2階では洋食メニューを用意しています。

営業時間

食堂1階	月～金	8:30～10:00(朝定食) 11:00～18:00(通常メニュー)
	土	11:00～14:00
食堂2階	月～金	11:00～14:00
厚生棟 ラウンジカフェ	月～金	11:00～14:00



食べたら
なみん



※両キャンパスとも、学事行事等で営業時間変更もしくは臨時休業の場合もございます。

卒業生の数だけ文教人がある！

文教人 / 134,000

幼稚園から大学院まで擁する文教大学学園。卒業生は13万人を超え、全国の様々なジャンルで活躍しています。

そんな「文教人」を追って、インタビューを行うこのコーナー。

文教大学学園時代の思い出から、現在の活躍まで、お話を伺いました。



須賀 達郎さん

Tatsuhiro Suga

【現職】

漫画家

【卒業年】

文教大学情報学部情報システム学科 2011年卒業

在学中に漫画家デビュー 日常観察が作品の説得力に

大学は作品づくりのネタの宝庫

ストーリー展開、絵の上手さ、構成員、魅力あるキャラクター……。そのどれもが欠けては成り立たないメディアが漫画であり、例外を除けば、そのすべてが一人の作家の手によって生み出されることに改めて驚かされる。そして須賀達郎さんの作品を読んで感じるのは、キャラクターの魅力が漫画を支える大きな力であるということだ。女子野球部を描いた『マックミラン高校女子硬式野球部』、プロ野球選手を支える妻が主人公の『帷子しずくはリードしたい!』。かわいいのに少し普通ではない登場人物たち。彼女たちが次はどんな振る舞いをするのか、ページを繰る手が止まらなくなる。

「大学は日本全国から人が集まってくる場所。話す言葉や文化の違いなどで驚くことも多く、キャラクターを考えるのに役立ちました。この個性は漫画だとう生

かせるかな、と。漫画のネタを探して、どんな授業も休まず出席していました(笑)」

よりおもしろく、 説得力のある作品を描くために

小さい頃からずっと絵を描くのが好きだったが、高校までは野球に没頭。クラブをペンに持ち替えたのは大学に入ってからだ。1年生の終わりから大手漫画雑誌に投稿を始める。通学中のバスの車窓から見える風景をどう描くか。人の視覚に訴える構図のスキルを『デザイン論』の授業で理論的に学ぶ。キャンパスを観察してネタを探す。大学生活は常に「漫画を描くこと」と共にあったが、周りには一切言わなかった。

「恥ずかしくて隠していました。普通に就職活動もしましたし。幸い卒業間近に連載が決まり、ゼミの卒業パーティーで、実は…」と

連載を抱えて睡眠3時間という生活から、現在は次の連載へ向けて取材を進める日々。作品は無から生まれるのではなく映画を観たり、旅に出たり、日常からのインプットがなければおもしろく説得力のある作品は描けないというのが持論だ。将来はアニメ化など、自分の描いた漫画を別のジャンルへ発展させたいと夢を語る。



「緑が多く気持ちのよい湘南キャンパスはふらっと来なくなる場所。文教富士や鐘塔は、卒業生には懐かしいものだと思います。春夏秋冬のモチーフを織り交ぜ、1年を通して憩いの場です、という思いを込めました」

第二の故郷となった この地の“幸せ”に貢献したい

加藤 明子さん

Akiko Kato

【現職】

有限会社チアーズ代表取締役、NPO法人酒田港女みなと会議副理事長、NPO法人酒田みなとまちづくり市民会議理事、酒田港中長期構想検討委員、酒田商工会議所おもてなし部会副会長

【卒業年】

文教大学女子短期大学部文芸科 1983年卒業

港町・酒田の魅力

多くの人に伝えるために

五月雨を集めて早し最上川一。松尾芭蕉が『奥の細道』で詠んだ最上川、その河口に古くから港町として開けたのが山形県酒田市である。現在も県内唯一の国際貿易港としてその役割を担い、近年はコスタネオロマンチカ、ダイヤモンドプリンセスなどの大型クルーズ船の寄港地としても注目されている。24歳でこの地に嫁ぎ、司会・イベント企画の会社を立ち上げ、地域振興のために奔走するのが加藤明子さんだ。特に現在は、クルーズ船の乗客と地元の高校生が交流できる「おもてなしカフェ」の運営、北前船寄港地・船主集落の日本遺産登録に貢献するなど、酒田港を盛り上げる取り組みに力を入れている。

「ハローワークで紹介された地元放送局のDJの仕事がプライダルの司会業につながり、いつの間にか地域のイベントにも駆

り出されるようになりました。酒田という港町で生きている。このことを実感するにつれ、この地で育った子どもたちはもちろん、多くの人に酒田の魅力を伝えたいと思うようになりました」

短大時代の2年間があったから

今の自分がある

酒田につながる縁は、実は短大時代に遡る。松隈義勇先生の「松尾芭蕉研究ゼミ」に所属していた加藤さんは、2年生の夏、『奥の細道』を辿る研修旅行で最上川を下り酒田の地を踏んだ。30年以上経った今も、当時の旅の思い出は生き生きと甦る。その忘れがたい風景の中に自分があることに、不思議な縁を感じるという。

「文学が好きで文芸科へ進み、短大ながらゼミという形で文学の奥深さ、日本語の美しさを学べたことが今の私の血や肉になっています。言葉や文字に関わる仕事

をしたいと思い、就職したサンリオでは『いちご新聞』を編集し、イベントではマイクを持って喋っていました。振り返るとすべてが短大時代からつながっていると感じます」

将来のことを問うと、「それを答えるのが一番難しい」という言葉が返ってきた。「いつも今が人生のピークなので、先のことを考えられない」と笑う。



まちづくりに関わる活動などを通して酒田で知り合った人が、実は文教人でした。左は酒田商工会議所の阿部智さん(文教大学情報学部2001年卒業)、右は酒田市で建具工事業社を営む木田吉隆さん(文教大学情報学部1997年卒業)。



文教人に会える店

「文教人」が活躍するお店も日本全国に広がっています。
魅力的な人となりを感じられる憩いの場にぜひお立ち寄りください。

詳しいお店情報はあやなりWebサイトをCheck! ➡



和らく 神奈川県鎌倉市長谷2-7-22
☎0467-23-2223



お店にいるのはどなたでしょう？
答えは15ページをご覧ください

亡き夫の思いを受け継ぐ海を一望できる陶芸喫茶

目の前に由比ガ浜が広がる絶好のロケーションに建つ陶芸喫茶「和らく」。店主の板倉妙子さんは、中高、短大時代を立正（現・文教）で過ごした。卒業後は銀行員として忙しく働き、結婚を機に退職。ところが、夫の正秀さんが49歳の時に病気で亡くなってしまった。夫の夢だった「陶芸喫茶」を板倉さんがこの地に開いて今年で36年。店内に飾られた味わい深い器は、ご主人の作品を中心に、板倉さんの作、そして店内で開く陶芸教室の生徒らが作ったもの。「もともと私は陶芸に興味はなかったのですが、主人が亡くなってから、その思いを受け継ぐ気持ちで教室に通い、見よう見まねで始めました。店で陶芸教室を開くのも主人のかねてからの夢だったんです」と板倉さん。店の看板メニュー・手作りの和牛カレーはご主人の母から受け継がれ、ご主人と共に3年かけて生み出した逸品で、この味を求めて訪れる客も多いという。「でも、一番のおもてなしは何と言ってもこの窓からの景色です。時間を忘れて、季節ごとに移ろう海と空をゆったりと味わってもらいたいですね」とほほ笑む。まるで知り合いの家におじゃましたような去り難い心持ちになるのは、板倉さんの人柄が醸すぬくもりのおかげでもある。



板倉 妙子さん
Taeko Itakura

陶芸喫茶 和らく 店主
立正学園女子高等学校
1969年卒業
立正女子大学短期大学部家政科
1971年卒業



knock coffee

ノックコーヒー
埼玉県越谷市東越谷1-5-17-2階
Facebook / Instagram @knockcoffee

A cup of coffee fills our city 一杯のコーヒーで街を豊かに

細長いビルの2階。階段をあがって店内に入ると、大きく切り取った窓から元荒川が見える。そう、この川を遡っていけば母校の越谷キャンパスがある。約2年間をかけて物件を探し、見つけたのがこの場所。「こんな所に人が来る？」と貸し渋るオーナーを説き伏せ、2017年秋にひっそりと開店。ここでコーヒーを飲んでみるとわかるが、とにかく心地よい。窓の外に広がる川、土手、空、そして舌の感覚をノック（knock）するコーヒー。

「コーヒーの美味しさの中でも、自分は甘さの感覚と飲んだ時のクリアな印象を大切にしています。コーヒー豆の生産者からロースター（焙煎士）、そしてバリスタからお客様へ、豆の旨味を引き出し一杯のカップにして届けるという当たり前のことを、まともにやり続けていきたいです」

教育学部に進学するが現行の教育のあり方に疑問を



もち、在学中は子ども向けワークショップを開催する仕事に携わり卒業後はサラリーマンに。仕事を通して自己表現する人の姿を見て「では自分は？」と考える中で、コーヒーと出会った。目指すのは「飲んだ人の気持ちが少しでも軽くなり、子育てや仕事にまたワクワクできるコーヒー」を提供することだ。

貝塚 心洋さん

Munehiro Kaizuka
knock coffee オーナー
文教大学教育学部
学校教育課程数学専修
2008年卒業



有限会社目黒印房

目黒区目黒本町2-6-12
☎03-3715-4731



人とのつながりを大切に、 喜んでいただける 商品を提案

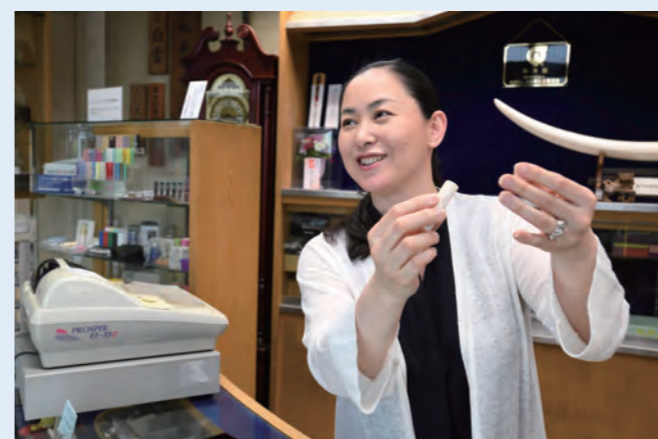
ひとくちに印鑑といっても様々だ。銀行印、社判、認印、住所印……。認印や住所印なら朱肉のいらぬスタンプタイプでよいし、銀行で使う印鑑は象牙など値の張る印材を使ってみたい。「お客様の用途にあった印鑑をコーディネートするのが私たちの仕事。“判子のコンシェルジュ”でいようと、スタッフに常々話しているんですよ」と笑う宮島裕子さん。変化する印章業界にあって自社工場を持ち、インク内蔵式スタンプ「シャチハタ」のプラントをいち早く導入するなど、一代で会社を大きく育てた父親。その跡を継ぎ二代目として奮闘する。

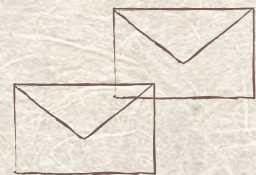
「ひとりっ子でしたので小さい時から後継者と言われ、それが嫌で逃げていた時代もありました。しかし今は、多くの出会いをもたらしてくれる仕事に感謝しています。喜んでいただける商品を提案し、長いお付き合いをできるよう心がけています」

宮島さんにとって母校の立正小学校（現・文教大学附属小学校）は、「兄弟姉妹に会える学校」。縦割教育が実践され、ひとりっ子のさびしさを感じたことはない。そして現在も同窓会の活動を通じて、幅広い年代の卒業生たちとつながっている。今も文教の絆を感じて日々を過ごせることが嬉しいと言う。

宮島 裕子さん
Yuko Miyajima

目黒印房 代表取締役
文教大学附属立正小学校
1985年卒業





恩師便り

先生！ お久しぶりです！

かつて文教大学学園で教壇に立っていた懐かしい恩師の方々の近況をお伝えます。今回は、3名の先生方に近況と文教時代の思い出を語っていただきました。



✉ 校友会を通じて卒業生のつながりを築く

富永 順次郎先生
Junjiro Tominaga

昭和46年立正女子大学教育学部附属石川台小学校に赴任。平成14年に退職後、稲城市市議会議員などを経て平成22年からは専業農家に。文教大学附属溝の口小学校校友会副会長。

自分で自分のことを「先生」と言えない。私にとって「先生」とは恩師の先生だけ。恩師が偉大だったので、自分のことをどうしても同じように呼べなかったんですね。子どもたちにとっては不思議な教師だったと思いますよ。授業も脱線ばかりで(笑)。教科書通りの授業ではなく、脱線しながらも学ぶべきことに寄せていく。そういう授業を目指していましたが、どうでしょう。

私自身溝の口小学校の出身で、言ってみれば生粋の文教っ子です。恩師とは小中高校時代の先生のこと。恩師のようになりたいと思い教員の道に進みました。公立の学校と比べると私学というのはちょっと違う。この言葉が適切かどうか分かりませんが、「濃い先生、熱い先生」が多かったように感じます。そうした環境で児童生徒時代を過ごし、時を経て教壇に立ちまた別の学びをさせていただき、人生とはチャレンジするものだと考えるようになりました。44歳で一念発起してゼロから農業を始めたのは、そうした土台が自分の中にあったからだと思います。

溝の口小学校が閉校し、卒業生たちが集まれる場を作りたい、集まれる場所に立ち会いたいという思いから、校友会の副会長の役を引き受けました。母校はなくなってしまっても、そこで学んだ記憶はいつまでも心に残っています。それを共有し、温めていくのが校友会の活動だと思っています。毎年高津区民祭と大山街道フェスタに、校友会として参加します。私の育てた野菜を出しますので、多くの卒業生、保護者の方に来ていただきたいですね。

毎年大山街道周辺で開催される、高津区民祭(7月下旬の日曜日)と大山街道フェスタ(2月下旬の日曜日)で、野菜のつかみ取りや販売を実施。詳細は17ページ「文教大学附属(溝の口)小学校校友会」の連絡先にお問い合わせください。



✉ 「文教森の会」が卒園生たちにとって、明日への活力となるように

自然や様々な経験・遊びの中で、個性の伸長を図り自己力を育てよう。文教大学附属幼稚園(越谷幼稚園)では子どもたちが社会に出た時のことを見据え、こうした教育をモットーとしてきました。そして閉園から27年経った平成25年には、文教大学藍蓼祭で「一日幼稚園」と題して当時の遊びを再現。多くの卒園



著書は「てぶくろくん」「ぐぐーんのいちご」など多数。

生とその家族、卒園生の保護者、当時の教職員などが集まり、懐かしい時間を過ごしました。そしてこれが文教大学附属幼稚園(越谷)同窓会「文教森の会」の発足であり、第1回の催しとなりました。以降回を重ね、元荒川を歩き自然観察をしながらゴミを拾う

林 文子先生

Fumiko Hayashi

昭和45年立正女子大学附属幼稚園(越谷幼稚園)赴任。幼稚園閉園後、平成6年より文教大学附属中学校・高等学校で国語教師として教鞭をとり図書室にも勤務。また、「林ふみこ」のペンネームで童話作家としても活躍。現在は「文教森の会」顧問としての活動のほか、自宅で小学生の学習支援などを行う。



「元荒川オリエンテーション&クリーンアップ」は越谷市の広報紙でも募集を呼びかけ、卒園生親子三世代と地域の方たちも参加する行事となっています。

「文教森の会」の名称は、幼稚園のまわりに元荒川を中心にかくさんの緑、自然があったこと。そしてこの会が、心を癒やしてくれる森や緑のような存在であってほしいとの思いから名付けました。やがて50代、60代を迎える卒園生たちが、当時に戻って楽しめる場、なんでも話せる場であるよう、今後も活動を続けていきます。

✉ 学園の転換点になった男女共学化

山田 俊一先生

Shunichi Yamada

昭和34年立正学園中学校・高等学校に赴任。平成9年から平成13年まで文教大学附属中学校・高等学校の第10代校長を務める。平成13年に退職。



22歳で立正学園中学校・高等学校の教諭になってから42年間、立正・文教で過ごしたことになります。赴任当時は女子校でしたし、私も若かったこともあって、よく女子生徒にいたずらをされました。教室のドアに黒板消しがはさんであるのはまだいいほうで、ある時「先生、大変です。みんながいなくなりました」と生徒に告げられて慌てて教室に行ったら確かに誰もいない。実はクラスの全員がベランダの窓の下に隠れていたなんていうこともありましたね(笑)。今も教え子に会うと「先生は生徒から人気があったからいたずらをされたんですよ」と言われるのですが、さてどうでしょう。

在職中、一番記憶に残っているのは校長として男女共学化を決断したこと。共学に反対する先生もいましたが、時代の流れから、これは何としてでも待たなして実行するしかない。後に決断が間違っていたのではと自問自答することもあったが、その後の学園の姿を見据えても、大きな転換点でしたね。

退職した今は、数カ月に一度、かつての同僚たちと鎌倉散策を楽しんでいます。私が散策コースを考えて、みんなを案内するんです。お昼は「和らく」(12ページに登場)に立ち寄るのが定番です。

文教大学学園 校友会の輪

2012年に発足した
「文教大学学園校友会」は
各校校友会団体の連合体です。
校友同士の輪(和)の
形成を目指しています。

文教大学 藍蔦会

会員数：41,031名
問合せ先：[藍蔦会事務局] 〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337
☎048-974-8811 ☎048-979-6644
✉aitade@www.bunkyo.ac.jp
🌐http://www.bunkyo.ac.jp/etc/aitade/

1973年の発足以来、藍蔦会は全国各地の卒業生のよりどころとして、また、母校文教大学の発展を願い同窓会活動を続けています。支部活動も継続し、現在、27県支部と5県の設立準備会があります。卒業生一人一人の積み重ねてきた力が社会においても会においても形となり、根付いてきました。卒業生の絆を大切に、今後も活動を続けていきます。



2018年2月12日群馬県支部誕生！

イベント ホームカミングデー

2018年10月13日(土) 場所：越谷キャンパス
基調講演講師：文教大学学長 近藤研至先生
懐かしいキャンパスで、恩師や学友との交流を深める機会にご活用ください。
ご来場お待ちしております！

文教大学女子短期大学部 芙蓉会

会員数：30,157名
問合せ先：[芙蓉会事務局] (火曜日・水曜日閉室)
〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100
☎0467-52-4075 ✉fuyou@www.bunkyo.ac.jp
🌐http://www.bunkyo.ac.jp/etc/fuyou/

昨年念願の女子短期大学発祥の地の記念碑建立除幕式が、卒業生・学園関係者の皆様ご出席のもと、盛会のうちに執り行われました。本年は聳塔祭に喫茶「芙蓉」を出店いたします。恒例の茶道体験を通して日本の伝統文化にふれてみてください。



高部先生と記念碑を囲んで

イベント 聳塔祭 喫茶「芙蓉」

2018年10月27日(土) 場所：湘南キャンパス
皆様がほっとできる憩いの場を用意しております。

文教大学経営情報専門学校 翔華会

会員数：2,842名
問合せ先：✉arao@stf.bunkyo.ac.jp (担当：荒尾)

13年間の短い歴史をもって1998年3月に経営情報専門学校は閉校しました。同時に記念誌「翔」を発行しこの会の活動は休止しています。卒業生は仕事にプライベートに忙しい世代です。時間に余裕ができ、再び「翔」ける日まで充電中です。



文教大学附属高等学校 三蓉会

会員数：23,657名
問合せ先：[三蓉会事務局] (木曜日閉室)
〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
☎03-3784-0524
✉sanyokai@hatanodai.bunkyo.ac.jp

昨年行われた創立90周年を祝う会も無事終わり、卒業生の絆を一層深めることができました。三蓉会は、卒業生、教職員、在校生の三本柱で学校を支えていきたいと思っております。



イベント 白蓉祭

2018年9月15日(土)・16日(日)
場所：旗の台キャンパス
卒業生のお休み処を用意しております。

イベント 創立90周年報告会

2018年11月3日(土・祝)
場所：身延山清浄寺
詳細是三蓉会会報をご覧ください。

文教大学附属小学校 同窓会

会員数：2,245名
問合せ先：〒145-0065 東京都大田区東雪谷2-3-12
☎03-3720-0792 ☎03-3720-1117
✉bersc_2008@yahoo.co.jp 🌐www.ikd2008.com

この春62期生が巣立ちました。「温故知新」卒寿を迎えられてもカクシヤクとされている内藤先生を訪ね、創立当時に小野光洋先生と共に苦労された思い出話を伺い、素晴らしい学園と同窓生の足跡を訪ねて参りました。



イベント バザー(父母の会主催)

2018年10月6日(土) 場所：文教大学附属小学校1F
恒例のじゃんけんスタンプラリーに加えて、片柳副会長力作の風船パフォーマンスが児童たちに大人気です。

文教大学附属(溝の口)小学校 校友会

会員数：約450名
問合せ先：〒206-0804 東京都稲城市百村606
☎090-2627-1761 ☎042-377-7772
✉tomi-jun@cream.plala.or.jp (担当：4回生 富永)
🌐http://www.yannet.biz/bunkyo-koyukai/ (担当：17回生 矢内)
Facebookもあります！HPともに「文教大学附属溝の口小学校校友会」で検索

夏の高津区民祭への参加は4度目を迎え、新たな参加者が増えるなど、活気を感じています。学園から援助を受けており、文教大学学園関係者の交流の場として、皆様の来場をお待ちしています。



イベント 大山街道フェスタ

2019年2月下旬の日曜日(詳細は年末以降の校友会HP/Facebookにて)
場所：旧大山街道増屋商店店頭を予定
「銀杏」と「のらぼう菜」のプレゼントを予定。

文教大学父母と教職員の会

会員数：8,878名(正会員/在学生 大学院98名含む)、
355名(教職員会員)、100名(賛助会員)

問合せ先：
[父母教越谷事務局] 〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337
☎048-974-8811 内線1051
[父母教湘南事務局] 〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100
☎0467-53-2111 内線640
✉fubokyo@stf.bunkyo.ac.jp
🌐http://www.bunkyo.ac.jp/etc/fubokyo/

本会は、本年度創立42周年を迎えました。保護者と教職員が緊密に連絡・協力して、文教大学の発展・向上に寄与することを目的とした会です。全国45支部での総会・研修会、学生の諸活動や生活および就職対策支援、100円朝食の共催等様々な活動を行っています。学生が卒業した後も、保護者が賛助会員として、会を支えています。



文教森の会

旧文教大学附属幼稚園(越谷)同窓会

会員数：60名
問合せ先：〒332-0035 埼玉県川口市西青木2-4-41-510
☎048-252-1757 ☎090-6015-8282(担当：林)
✉fmk.61012@aa.cyberhome.ne.jp

昨年5月に「元荒川土手でのオリエンテーリング」、7月に「八ヶ岳一泊バスツアー」を開催。八ヶ岳では夏野菜の収穫や学園寮でのBBQを楽しみました。これからも三世代が楽しめる活動を用意していきます。ぜひご参加ください。



イベント MAK(元荒川)いきもの観察&クリーンアップ

2018年10月(予定) 場所：元荒川周辺
土手に生息する生物をカメラに写しながら、土手のゴミ拾いをします。
詳細は校友会HPや越谷広報紙をご覧ください。

文教大学ビジネス同友会

会員数：約200名
問合せ先：〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
☎04-7145-5036 ✉bunkyo.bd@gmail.com
🌐http://bunkyobiz.net/

ビジネス現場で日々奮闘する同窓生が、縦横の繋がりを深め情報交換できる親睦団体です。様々な職種で活躍する会員は、就職したばかりの20代から60歳を越えたベテランまで、短大を含めた全学部の文教OBにわたります。



イベント 第5回キャリアサロン

2018年11月の土曜日午後(詳細未定) 場所：旗の台キャンパス
毎回、個別テーマに沿った職務当事者を講師に、ビジネス・キャリアを探ります。詳細はHPでご確認ください！

文教大学学園 退職職員の会

会員数：58名
問合せ先：〒146-0085 東京都大田区久が原1-32-2
☎03-6410-9943(担当：鈴木)

退職職員の会は、文教大学学園(旧立正学園)の職員であった事の喜びと誇りと榮譽を持つとともに、会員相互の親睦を図ることを目的に発足しました。現在は休会していますが、再び活動できる日まで情報収集を行ってまいります。



学園 NEWS

日々着々と進化していく文教大学学園の
タイムリーなニュースをお届けします！

文教大学 小学校／中学校 教員採用者数 私立大学 全国第1位！

2018年4月12日発売『大学ランキング2019』（朝日新聞出版）によると、教員採用者数（2017年大学通信調べ→2016年度実績）は以下の通りでした。

小学校		中学校	
国公立	全国第4位(230人)	国公立	全国第1位(154人)
11年連続	私立大学 全国第1位	5年連続	私立大学 全国第1位
1 愛知教育大	268人	1 文教大	154人
2 北海道教育大	257人	2 北海道教育大	130人
3 大阪教育大	235人	3 日本大	119人
4 文教大	230人	4 愛知教育大	118人
5 岐阜聖徳学園大	222人	5 茨城大	92人

文教大学 国際学部×JR茅ヶ崎駅の共同プロジェクト 構内英語アナウンスが放送されています！

国際学部の学生13名が制作協力した英語による構内アナウンスが、2018年3月2日からJR茅ヶ崎駅において放送されています。この取り組みは、茅ヶ崎駅の担当者から、「地域密着」「サービス向上」取り組みプロジェクトの一環として、本学に英語アナウンスの協力依頼があり、国際学部で英語を指導する阿野教授が担当し、2017年11月からプロジェクトがスタートしました。また、2020年の東京五輪や、2018年6月に開業120周年を迎えた茅ヶ崎駅とのコラボ企画が現在進行しています。



文教大学 「文教大学教育フォーラム2019」のお誘い

▶ <http://www.bunkyo.ac.jp/etc/bkforum/>

教育関係の仕事に就く卒業生の“気楽な”情報交換会、「文教大学教育フォーラム」を、2019年2月下旬に開催します。日時と内容は、藍薔会会報等でお知らせします。皆様ぜひお集まりください！

文教大学キャリア支援課からのお知らせ

越谷キャンパス OB・OGに活躍してもらっています！

越谷キャンパスキャリア支援課では、教員・企業・公務員・幼保の4分野に分かれて就職支援を行っています。就職支援行事の中には、それぞれの現場で活躍する先輩たちから、普段の仕事の内容や仕事に対するやりがいなどを説明していただく機会を設けています。先輩たちの話を通して、「どのように生きるか」「働くとはどういうことなのか」「学生時代の過ごし方」など仕事に携わる意義や目的を明確にし、就職活動に役立ててもらいます。



湘南キャンパス 湘南キャンパス卒業生の皆さん、聳塔祭の日に帰ってきませんか？

聳塔祭2日目（2018年10月27日（土））にキャリア支援課主催卒業生交流イベントを実施します。卒業して数年経つ方、卒業してまだ間もない方、転職を考えている方等、条件は湘南キャンパスの卒業生であることのみ！午前の部では卒業生同士で情報交換をする場を、午後の部では在学生と交流する場を設ける予定です。

※事前申込は不要です。

問合せ先：キャリア支援課 ☎ 0467-54-3708



中学校 高等学校 文教ステーションで学習支援をしています！

文教ステーション（B-ステ）は、塾と連携して放課後学習を支援する独自システムです。

生徒一人ひとりの理解度に合わせて、専任のチューターがサポートします。授業で学んだ内容をその日のうちに定着させることで、生徒の力を最大限に伸ばす仕組みです。部活動後の利用も可能なので、夜まで文武両道でがんばる生徒の姿が多く見られています。



小学校 「鼓笛隊」結成！

4年生から6年生の有志による「鼓笛隊」が、2017年度から結成され今年の運動会でも活躍しました。

休み時間に練習を重ねた結果、はじめは音が出なかったトランペットやトロンボーンも、音が出せるようになりました。他のパートも自発的に友達同士で教えあったり、合わせる練習をし、とても暑い中でしたが頑張っただけで、音はどんどんよくなりました。



台湾の大学進学のための中国語(華語)講座を実施しています！

グローバル人材育成の第一歩として、台湾の大学進学を見据えた中国語講座を開講しています。台湾大学進学予備校から講師を招き、進学するまでの事前中国語学習を校内で行う仕組みで、2017年から進学者も出ています。他にも、オーストラリアへの留学プログラムやセブ島英語研修など、「世界に飛翔する力」を具現化しています！



幼稚園 「お店屋さんごっこ」も盛大に

待ちに待ったお店屋さんごっこが2017年12月5日（火）に行われました。現在は、スーパーやコンビニが多い中、文教の子どもたちは近くに立派な商店街があるので“お店屋さん”をイメージしやすかったようです。

前日に開店準備をして、当日の朝、保護者の皆様にも見ていただきましたが、どれも力作ぞろい。そして、子どもたちの気持ちがたっぷりこもっていました。

お母さん店長の手伝いをいただきながら、皆でひとつになって文教のテーマでもある“遊びの中から様々なことを学ぶ”ことができる「お店屋さんごっこ」でした。



幼稚園・小学校・中学校・高等学校 入試関連イベントのお知らせ

中学校・高等学校 入試関連イベント

入学をお考えの受験生やその保護者の皆様をはじめ、多くの方々に本校の教育方針や教育内容を知っていただくため、学校説明会、イブニング説明会、授業公開デー、オープンスクールなど、様々な入試関連イベントを開催します。すべてのイベントの際、ご希望の方対象に施設見学（授業見学）、個別相談を承ります。詳しくは、文教大学附属中学校・高等学校のHP「入試案内」でご確認ください。多くの皆様の来校をお待ちしております。

<http://www.bunkyo.ac.jp/jsh/>

【学校説明会】

日程	中学校	高等学校
9月 8日(土)	14:00 ~ 15:20	10:30 ~ 11:50
10月 6日(土)	10:30 ~ 11:50	14:00 ~ 15:20
10月 24日(水)	10:30 ~ 11:50	—
11月 10日(土)	10:30 ~ 11:50	14:00 ~ 15:20
12月 1日(土)	—	10:30 ~ 11:50
1月 9日(水)	10:30 ~ 11:50	—

小学校 学校説明会のお知らせ

入学をお考えの受験生や保護者の皆様をはじめ、多くの方々に学校の様子をご覧いただき、学校教育方針をご理解いただくために、公開授業参観、学校説明会、個別相談会などを開催しています。詳しくは、文教大学附属小学校のHP「入学案内」でご確認ください。

<http://www.bunkyo.ac.jp/bkshogak/entrance/>

日程	授業	説明会	個別相談会	備考
9月15日(土)	8:30 ~ 10:20	10:30 ~ 11:20	11:30 ~ 12:30	オーストラリア留学体験児童の体験発表あり
10月 4日(木)	8:30 ~ 10:20	10:30 ~ 11:20	11:30 ~ 12:30	年長園児対象入学考査体験あり

幼稚園 入園説明会のお知らせ

詳しくは、文教大学附属幼稚園のHP「入園について」でご確認ください。

<http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/youchien/admi/index.htm>